

Ⅲ 東京都社会福祉協議会会長表彰状受賞者

1 ボランティア等社会福祉協力者・団体

17名11団体

氏名・団体名／推薦者 活動開始年月	内 容
福山 幸伸／ 公益社団法人銀鈴会 平成24年 9 月	自身は喉頭を摘出後、食道発声法で「第二の声」を取り戻した。平成24年に食道発声訓練士となり、自身の体験を交えた指導法でこれまでに300人以上を社会復帰させてきた。平成28年より公益社団法人銀鈴会の監事となるとともに、令和7年より銀鈴会内組織の喉頭摘出者団体アジア連盟のスタッフとして連盟各国団体との調整を行っている。
NPO法人女性ネットSaya-Saya／ 荒川区社会福祉協議会 平成12年 6 月	DV被害者のための相談、DV被害女性の自立支援や子どものための支援プロジェクト、ひとり親家庭の子どもたちへの食事や安心な居場所、ステップハウス(シェルター)、生活支援、子育てサロンなど、全国区から被害者を受入れている。荒川区子どもの居場所づくり事業「てらこやミモザ」(子ども食堂)では週1回の活動を継続している。
油科 和美／ 社会福祉法人ボワ・すみれ福社会 平成22年 5 月	社会福祉法人ボワ・すみれ福社会花の家(生活介護)では、職員だけでなく、支援スタッフ(有償ボランティア)がおり、職員同様に障がいの重い方々の生活介護での諸活動を支える原動力となっている。長期に渡り花の家に関わりボランティア精神そのもので支援の対価を求めない活動を継続している。
羽村市ボランティア連絡協議会／ 羽村市社会福祉協議会 平成 5 年 7 月	羽村市におけるボランティア活動の中心として平成 5 年 7 月に設立した。以来、地域やボランティア団体が実施する福祉イベントの紹介やボランティア関連情報誌を月 1 回発行、福祉施設の利用者や福祉関係者の趣味や活動の発表の場として「ふれあい福祉文化祭」を主催している。また、20年以上にわたり街頭募金活動への協力をおこなっている。
葛飾の高齢者問題を考える会 せせらぎ水元／ 葛飾区社会福祉協議会 平成11年 4 月	25年以上にわたり、高齢者向けに食事サービスを提供しており、配達時には安否確認も行っている。この活動は、地域の高齢者の孤立を防ぐ重要な役割を果たしており、今後も更なる成果が期待できる。
渡邊 浩子／ 社会福祉法人至誠学舎東京緑寿園 平成19年 5 月	緑寿園では、週 1 回認知症デイサービスで利用者と主にゲームなどの活動補助や話相手、昼食の配膳などの手伝いをしてきた。人とのふれあいを大切に利用者に寄り添い、いつも笑い声が絶えない場を作ってきた。他施設でも認知症デイサービスのボランティア活動をしたり、見守り活動の一環で市報を配布して地域貢献をしている。
こども子育て安心まちづくりサークル／ 多摩市社会福祉協議会 平成27年 5 月	こどもと地域を繋ぎ、安心して暮らせる町づくりを目指した活動をしている。小学 1 年生の下校の見守り(4月は毎日、以降は適宜)、公園の清掃・多摩川のゴミ拾い(1～2週間に1回)、宿題や遊びの見守りと付き添い(毎日)、地域のお祭りの参加手伝いなど、保育園の父兄、卒園者、子ども自身ができる時にできる活動を続けている。
今井 峰子／ 調布市社会福祉協議会 平成17年 3 月	長期にわたり介護保険対象者のデイサービスにて、手作りの昼食を同じ施設内の調理室で作っている。栄養バランスの良い手作りの昼食はとても好評で、利用者にもメニューの紹介などを行い交流している。
菊池 利香／ 調布市社会福祉協議会 平成16年 4 月	調布市社会福祉協議会運営の生活介護事業所である調布市希望の家(知的障がい者施設)で実施している音楽教室活動において、講師協力(教室進行、ピアノ伴奏等)をしている。平成25年からは同法人運営の希望の家深大寺においても同様の活動協力をしている。

氏名・団体名／推薦者 活動開始年月	内 容
琴望会 野菊／ 調布市社会福祉協議会 平成15年 4 月	長年にわたり大正琴の演奏で高齢者施設への訪問活動を続けており、コーディネーターを介さず、自主的に訪問先を開拓するなど、新たな施設への訪問にも積極的に取り組んでいる。また、地域のイベントに参加するなど、地域交流にも取り組んでいる。
平賀 邦輝／ 調布市社会福祉協議会 平成17年 4 月	20年間にわたり調布市内の学校や企業等で実施している「福祉体験の出前講座」で、視覚障がい者ガイドヘルプ講座の当事者講師として活動を続けている。また、障がい者スポーツ「スルーネットピンポン」の活動普及にも尽力している。福祉関連のイベントで、体験指導をしたり、障がい者スポーツの紹介のための講演活動も行っている。
松井 恵美／ 調布市社会福祉協議会 平成11年 6 月	高齢者会食の調理ボランティアとして、ひとり暮らしの高齢者に温かい料理の提供と見守り活動を続けながら地域福祉に貢献している。
前川 登喜子／ 社会福祉法人東京かたばみ会調布八雲苑 平成27年 5 月	調布八雲苑特別養護老人ホームにおいて、自発的なボランティアとして毎週金曜日洗濯物の分別整理に、長年にわたり支援をしてきた。
島田 光枝／ 社会福祉法人東京栄和会なぎさ和楽苑 平成11年 4 月	なぎさグループの一員として平成11年より活動を開始し、毎週土曜日のベトナムメイキングボランティアをメインとした支援を行っている。その他活動として、年間を通し開催される苑内行事への参加、利用者への寄り添い支援に至るまで様々に活躍しているほか、他施設での活動へも積極的に参加している。
車いすメンテ ウィールの会／ 東村山市社会福祉協議会 平成28年 4 月	社協会員への貸出や、市内小中学校等での福祉学習で使用する車いすの点検・整備・清掃を月 2 回行っているボランティア活動団体である。
高橋 加代子／ 社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センター 令和 4 年 7 月	装飾ボランティアとしての活動当初は制作された作品を事業所の一角に飾るのみだったが、作品数の増加に伴い掲示スペースが拡大し、現在では 2 つの病棟を中心に季節感のある装飾が活用されている。また各病棟のイベント会場などでも多数の作品が掲示され、入所及び外来の利用者や家族、職員からも高い評価と感謝の声が寄せられている。
安藤 喜恵／ 社会福祉法人日本点字図書館 昭和58年 1 月	自治体広報等で点訳奉仕のことを知り、点訳活動を開始。「黒の様式」(松本清張著)等の小説から「いくつになっても、今日がいちばん新しい日」(日野原重明著)等まで幅広く点訳し、視覚障害者の読書の充実に大いに貢献している。実績は、点訳47タイトル187巻22,512ページ、校正14タイトル64巻(令和 7 年 5 月25日現在)。
上原点字の会／ 社会福祉法人日本点字図書館 平成13年10月	平成13年10月に日本点字図書館・プライベートサービスの点訳ボランティアに登録した。深い知識と高度な技術で、各種問題集のほか、囲碁・将棋に関する書籍や漫画など、多岐にわたるジャンルの点訳を行い、視覚障害者への情報提供に大いに貢献している。当館における点訳実績は令和 7 年 5 月末現在24,297ページである。

氏名・団体名／推薦者 活動開始年月	内 容
高畑 靖子／ 社会福祉法人日本点字図書館 平成17年 5 月	録音図書製作ネットワーク「びぶりお工房」の管理者として、約250タイトルの朗読校正、修正要否確認をしてきた。他にデジ編集、デジ校正も行っている。創設時からのメンバーとして、「びぶりお工房」の維持発展に大きく貢献してきた。
山本 薫／ 品川区社会福祉協議会 平成15年12月	日常生活に手助けを必要としている人への家事援助を行っているさわやかサービスにおいて、22年の長きにわたり、移送サービスを始め、高齢者、障害児・者を中心とした外出介助、見守りや話し相手の活動を継続している。
和久井 良一／ 品川区社会福祉協議会 平成30年 3 月	自ら立ち上げた地域の居場所では、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気づくりを大切にしており、自然と住民同士のつながりが生まれている。住民の声を職員につなぐ相談の仕組みづくりにも尽力してきた。90歳を超える現在もなお継続している地域の活動は、多くの仲間の心に響き、勇気と希望を与えている。
傾聴ボランティア「きき耳すみだ」／ 墨田区社会福祉協議会 平成26年 3 月	地域の高齢者施設等に行き傾聴ボランティアの活動を積極的に行うほか、アドバイザーを招き研修を行うことによって会員相互のスキルを高めることに努めている。すみだボランティアセンター主催の傾聴ボランティア講習会に協力するとともに、ボランティアまつりなどの交流活動にも参加し普及啓発活動を積極的に行っている。
エコール足立／ 足立区 令和 6 年 4 月	地域住民ボランティアが中心となり、令和 6 年から足立区および周辺地域に住む外国人向けに、週に 1 回、日本語教室を開設している。日本で生活していく上で必要な知識も提供しており、平均25名の学習者がいる。また、区が実施するボランティア講座に参加し、日本語の指導法や接し方について日々研究・向上を図っている。
スクール足立／ 足立区 令和 6 年 4 月	地域住民ボランティアが中心となり、令和 6 年から足立区および周辺地域に住む外国人向けに、週に 1 回、日本語教室を開設している。日本で生活していく上で必要な知識も提供しており、平均19名の学習者がいる。また、区が実施するボランティア講座に参加し、日本語の指導法や接し方について日々研究・向上を図っている。
日本語教室 こんぱす／ 足立区 令和 5 年10月	地域住民ボランティアが中心となり、令和 5 年から足立区および周辺地域に住む外国人向けに、週に 1 回、日本語教室を開設している。日本で生活していく上で必要な知識も提供しており、平均20名の学習者がいる。また、区が実施するボランティア講座に参加し、日本語の指導法や接し方について日々研究・向上を図っている。
後藤 順子／ 大田区立障がい者 総合サポートセンター 平成19年12月	平成19年12月音訳者養成講座受講終了後、蔵書製作だけではなく、自館発行の定期刊行物を継続的に音訳している（歴史街道担当として11年間、大田区報担当者として 9 年間）。近年は主に蔵書及び福祉分野における行政依頼の冊子等の音声版製作に、積極的に携わっている。
伊藤 美紀子／ 町田福祉園 平成14年 4 月	都立施設だった時代から「町田福祉園」のボランティアの第一期生として長きにわたり日中活動補助に尽力してきた。作業や体育館活動のみならず、裁縫などで作業グッズの作成支援や、成人を迎えた利用者の着付けなど、幅広く活躍してきた。

氏名・団体名／推薦者 活動開始年月	内 容
林 和加子／ 町田福祉園 平成15年 9 月	都立施設だった時代から「町田福祉園」のボランティアの第二期生として長きにわたり日中活動補助に尽力してきた。作業や体育館活動のみならず、裁縫などで作業グッズの作成支援や、成人を迎えた利用者の着付けなど、幅広く活躍をしてきた。